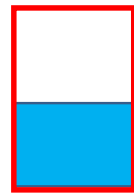


**I.**  
 居住誘導区域を**限定したが**、  
 浸水想定区域の割合が**増加若しくはほぼ無変化**  
 (長岡市、高岡市、岩国市、山口市)



**II.**  
 居住誘導区域を**限定せず**、  
 浸水想定区域の割合が**ほぼ無変化**  
 (大垣市、三条市)

## 居住誘導浸水想定区域の複合評価

### 詳細対象6都市に対する分析

居住誘導区域に対して100mメッシュで、評価する

#### 市街地評価

- ・人口密度
- ・公共交通利便性
- ・基盤整備
- ・都市機能誘導区域

#### 浸水リスク

- ・浸水想定区域(計画規模)
- ・浸水実績 等

#### 避難所

水害に対応する避難所から500m圏

市街地評価 × 浸水リスク × 避難所圏(複合評価)

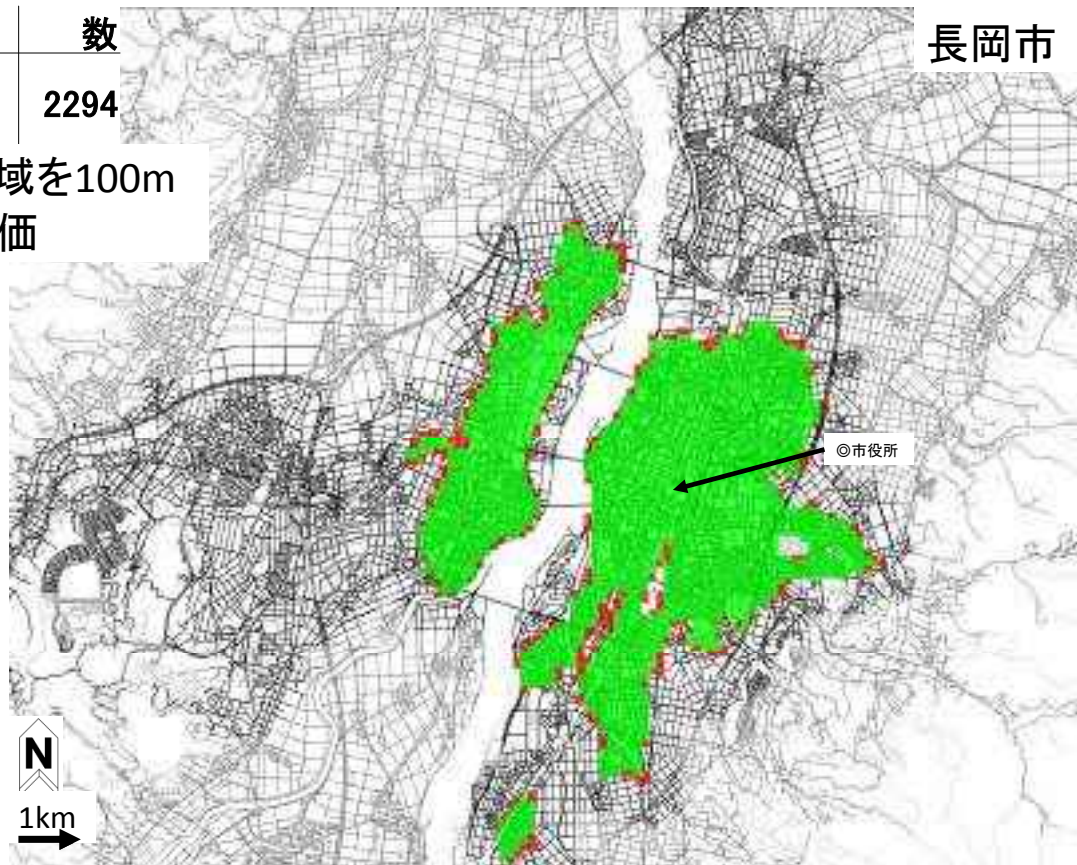
結果から浸水リスクの高い地区を中心に対策・方針を自治体にヒアリング

# 居住誘導浸水想定区域の複合評価

色	判定	数
■	居住誘導 区域	2294

長岡市

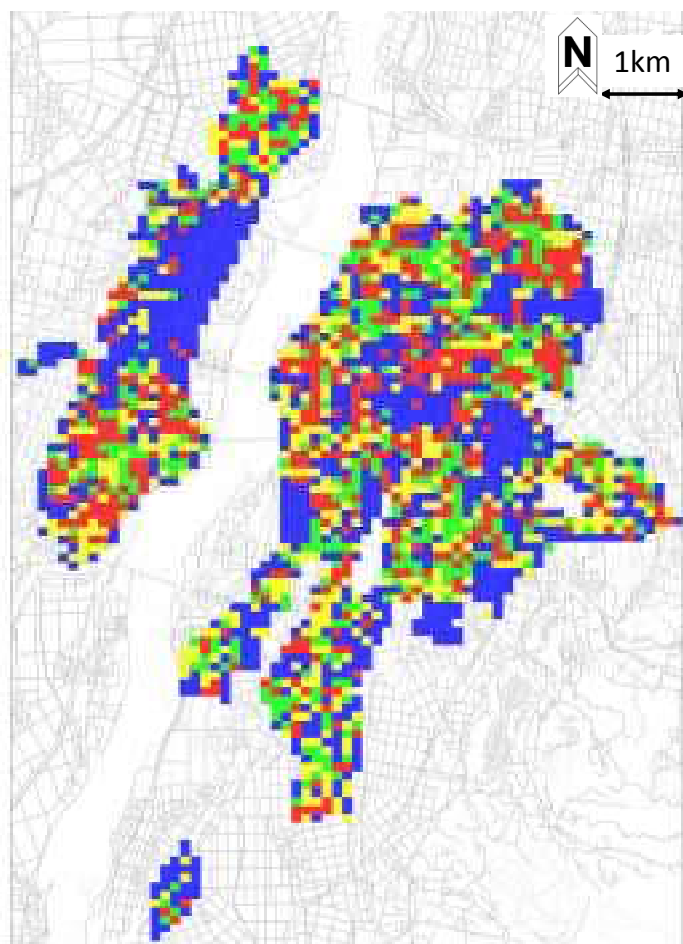
居住誘導区域を100m  
メッシュで評価



## 人口密度(平成27年)

色	判定	数
■	$80 \text{人/ha} \leq X$	519
■	$60 \text{人/ha} \leq X < 80 \text{人/ha}$	402
■	$40 \text{人/ha} \leq X < 60 \text{人/ha}$	458
■	$X < 40 \text{人/ha}$	915

N = 2294

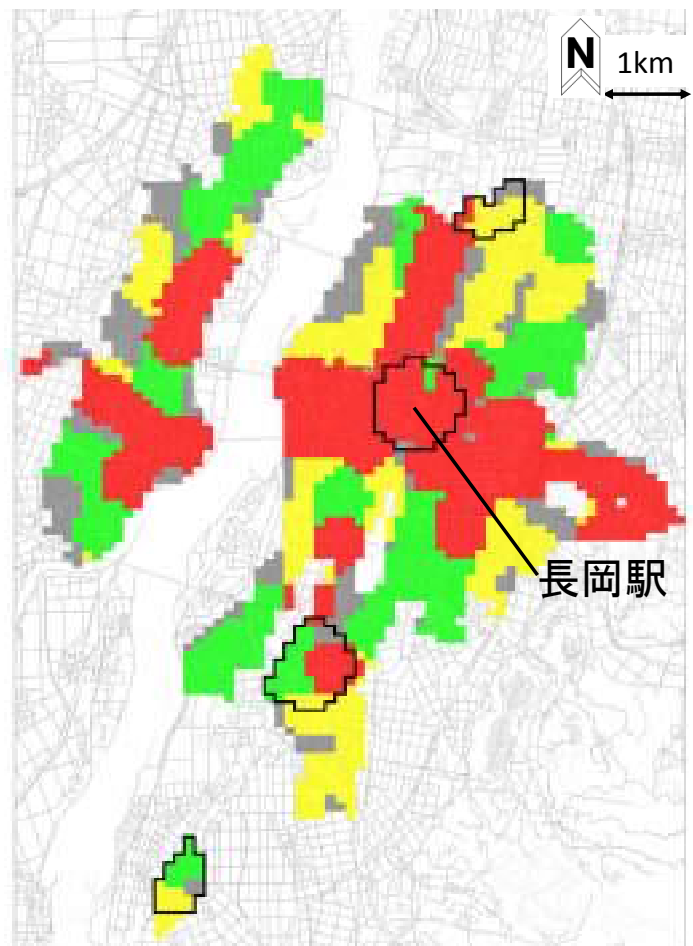


# 公共交通利便性

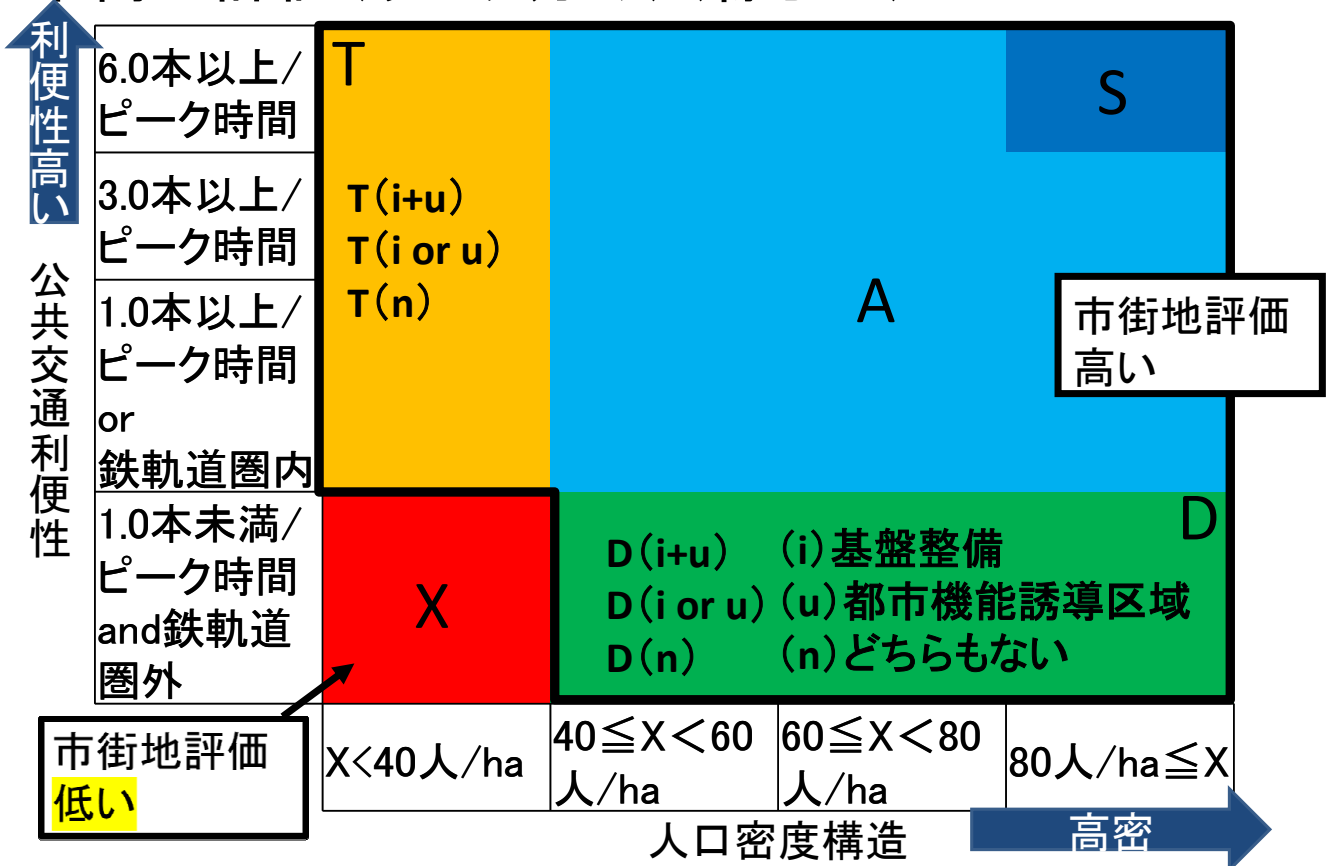
色	判定	数
赤	6.0本/ピーク時間以上	828
緑	3.0本/ピーク時間以上	591
黄	1.0本/ピーク時間以上	536
灰	1.0本/ピーク時間未満	339

鉄道圏内

N = 2294



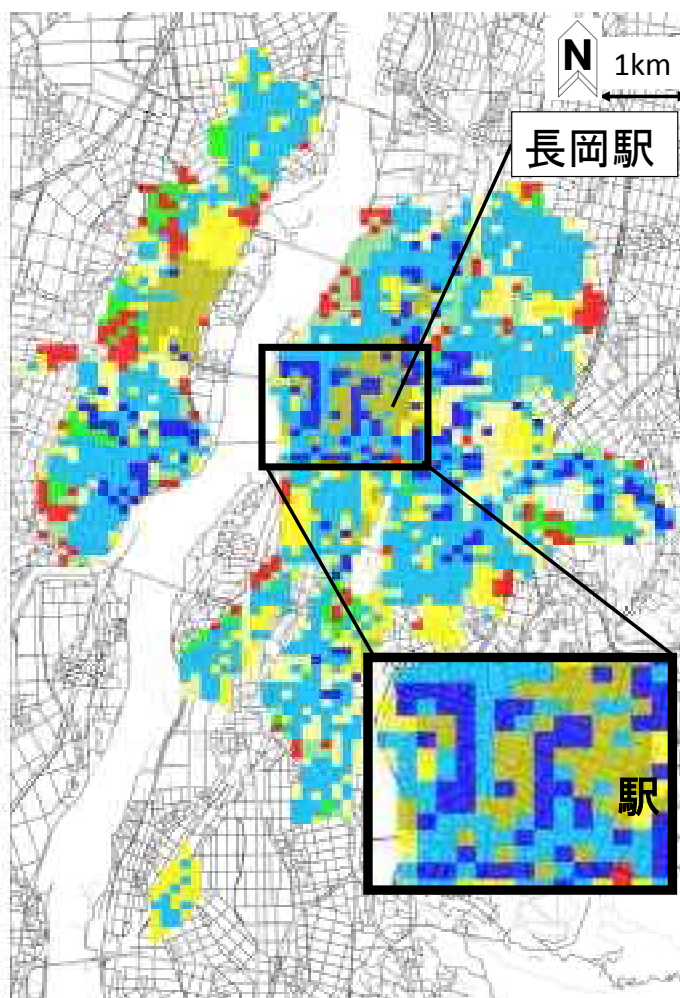
## 市街地評価(ランク分け)(線引き)



# 市街地評価

色	評価	数	評価
■	S	189	人口密度、公共交通最高評価
■	A	1009	人口密度、公共交通一定評価
■	D(i+u)	2	D：人口密度一定評価
■	T(i+u)	136	T：公共交通一定評価
■	D(i or u)	80	
■	T(i or u)	336	
■	D(n)	99	
■	T(n)	290	
■	X	153	人口密度、公共交通最低評価

- (i) 基盤整備
- (u) 都市機能誘導区域
- (n) どちらもない



# 浸水リスク(浸水想定区域計画規模+実績)

色	想定浸水深	数
■	$2.0 \leq X < 5.0\text{m}$	770
■	$0.5\text{m} \leq X < 2.0\text{m}$	1016
■	$0 \leq X < 0.5\text{m}$	286
■	想定浸水深無	222

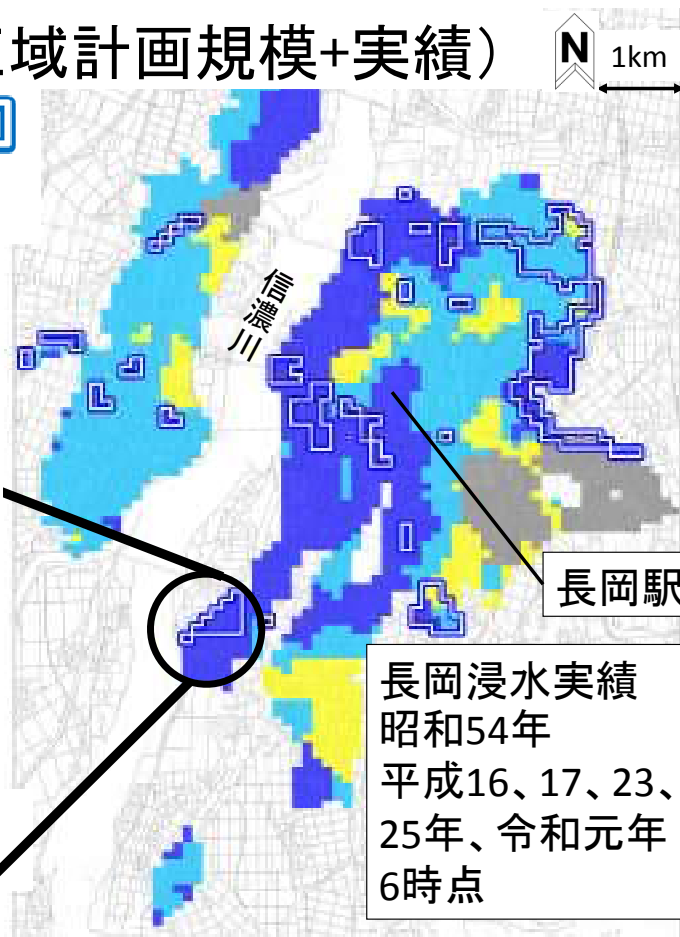
※浸水実績: □

あり	245
なし	2049

- ・浸水深だけでなく、実績も考慮
- ・浸水リスク高い(想定浸水深2.0m以上若しくは浸水実績あり)



令和元年浸水実績  
(新潟県提供)  
■: 浸水実績



長岡浸水実績  
昭和54年  
平成16、17、23、  
25年、令和元年  
6時点

# 避難所圏500m(補助情報)

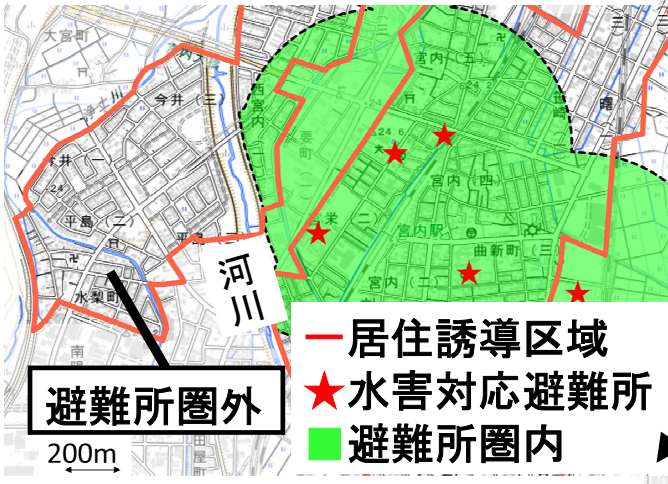
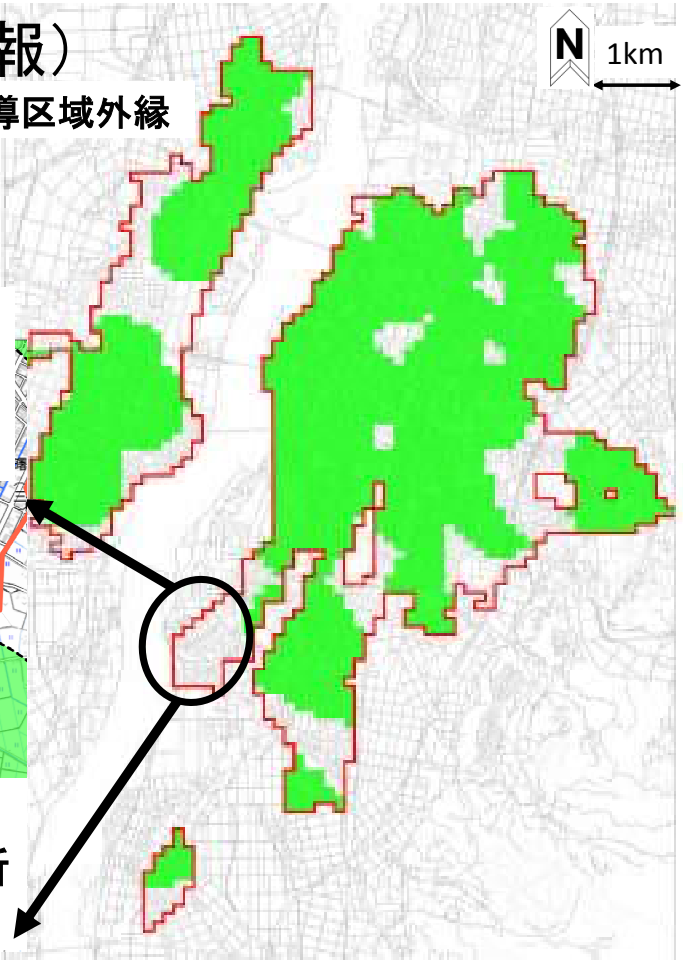


色 判定 数 — 居住誘導区域外縁

■ 避難所圏内 1734

■ 圏外 560

地域防災計画、ハザードマップ参照に  
浸水に対応する各避難所から500m  
(浸水想定区域対象河川、アンダーパスを跨ぐ箇所は除く)



## 市街地評価 × 浸水リスク × 避難所圏

市街地評価

×

浸水リスク

×

避難所圏

